

改正薬機法に向けた 薬剤師のためのWebセミナー

～ **ゼロから学ぶ**臨床検査値を活かした処方鑑査と服薬指導～

日時

2020年**9月1日**(火) 19:00～19:40

座長

千葉大学医学部附属病院 薬剤部

関谷 美聡 先生

演題

薬剤師が 腎機能の臨床検査値 を使うと何ができる？

演者

千葉大学医学部附属病院 薬剤部

山口 洪樹 先生

【抄録】

当院においては検査値に関連した疑義照会の85%が腎機能に関わる内容です。

疑義照会に腎機能を活用する場面は多く、主に腎機能低下患者への投与禁忌回避・用量調節、副作用評価（薬剤性腎障害）です。

例えば、ダビガトランはCcrが20mL/minの患者では投与禁忌になりますが、疑義照会の際に代替薬として何を提案しますか？ Ccrが25mL/minの患者にエスワン配合錠100mg/日の処方があった場合、疑義照会しますか？

そのまま14日間服用するとどの検査値が大きく変動して危険な状態になるでしょうか？ 実例をもとに解説します。

本講演会のご視聴を希望される際には、裏面の視聴方法より申し込み下さい。
追って、視聴方法等の詳細をメールにてご案内をさせていただきます。
ご連絡を頂く、個人情報 は本会運営の目的のみに使用させていただきます。

視聴方法

ご視聴を希望される方は①～③のいずれかでお申し込み下さい。

①弊社担当MRまでご連絡下さい。

②kyosuke-akasaki@ds-pharma.co.jp（赤崎宛）へご施設名・御名前を記載の上、送信下さい。

メールアドレス⇒
QRコード



③下記申込書をご記入の上、FAXにてお申し込み下さい。

追って、視聴方法等詳細をメールにてご案内致します

※ご連絡いただく「個人情報」は本会運営の目的のみに使用させていただきます

期日：8月27日（木）までにご連絡お願い致します

参加申込書

①	御名前	
	ご施設名	
	E-mail	
②	御名前	
	ご施設名	
	E-mail	
③	御名前	
	ご施設名	
	E-mail	

申し込み先

大日本住友製薬株式会社 千葉支店 赤崎 恭介 行

FAX：043－211－8421

共催： 千葉大学医学部附属病院 薬剤部 / 大日本住友製薬株式会社